

## 事項六 南 潢 鉄 道 関 係

四四九 一月二十七日

在九江藤井領事館事務代理ヨリ  
内田外務大臣宛

### 南潯鉄道營業進款比較表進達ノ件

付属書 右營業進款比較表

往信第二五号

大正十二年一月二十七日

(一月十五日接受)

在九江領事館

事務代理 藤井 啓一(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

南潯鉄路公司ノ発表ニ係ル別紙營業進款表御参考迄ニ及進

達候間御查閱相成度候 敬具

本信写送付先 在支公使

(付属書)

南潯鉄道營業進款比較表

	民	國	十	年	度	旅	客	貨	物	渡	船	雜	項	共	計
一月	二七、四九	六	一	月	二七、四九	元	二八、八二	三	元	一二	二〇	二七、〇〇	八	五六、	四五、一
二月	二六、九八〇	八	一	月	二六、八四八	元	九、八九九	九	八九九	一〇	一一〇	五五、	三七六	二〇、五	〇八
三月	二八、四一〇	一	六	月	二八、四一〇	元	一六、六六六	八	二一〇	四二、	四八八	二二〇	二二〇	二二〇	五、六
四月	二六、九四〇	二	〇	月	二六、九四〇	元	二〇、七八一	二	二一〇	四二、	四八八	二二〇	二二〇	二二〇	五、六
五月	二六、四三七	三	二	月	二六、四三七	元	一五、九二三	三	三五二	六六一五	三八、	三二四	二二〇	二二〇	二二〇
六月	二四、一八一	四	一	月	二四、一八一	元	一三、五二三	四	五二二	七三八二	三三、	〇五二	二二〇	二二〇	二二〇
七月	二六、六四九	五	二	月	二六、六四九	元	一四、三八〇	五	一〇二〇	四一、	二四〇	一〇二〇	一〇二〇	一〇二〇	四、一
八月	二六、八七四	六	一	月	二六、八七四	元	一八、九一六	六	一一〇〇	四六、	〇〇二	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇	四、六
九月	二九、九七八	七	一	月	二九、九七八	元	一六、九八八	七	一七二二	四七、	一九六	一七二二	一七二二	一七二二	五、四三
十月	三一、八四六	八	一	月	三一、八四六	元	一七二二	八	二一〇〇	五五、	五四三	二一〇〇	二一〇〇	二一〇〇	五、四三
十一月	三三、八四三	九	一	月	三三、八四三	元	三一〇、二三七	九	三三〇	三五五、	七三四	三三〇	三三〇	三三〇	七、三四
十二月	三六、八四三	一〇	一	月	三六、八四三	元	三一〇、二三七	一〇	一〇五六一、	三一七					
共															
十一月															
十二月															
十一一年															

進置候処其後更迭ノ分ヲ補正シ現在重要職員表別紙ノ通及

報告候間御查閱相成度候 敬具  
本信写送付先 在支公使

(付属書)

### 南潯鉄道主要職員表

(大正十二年一月現在)

文書課長	處長	出納課主任	庶務課主任	股票課主任	總理	總理	蔡儒楷	協理	張肇達	工程顧問	田中啓次郎				
南段々長	車務處	會計処	總務處	高比良勝二	會計顧問	座弁	蔡兆灝	文牘課主任	李滂	蔡福清	蔡康悅				
黃元熾	彭祖年	鄒邦珏	蔡應枢	漆鍾麟	主計課主任	採買課主任	蔡福清	蔡康悅	蔡壽喬	潘鳳林	葉家驥				
車輛課主任	北段々長	調查長	料庫課主任	主計課主任	處長兼領	處長	處長	處長	處長	處長	處長				

四五〇 二月二日 在九江藤井領事館事務代理ヨリ  
内田外務大臣宛

### 南潯鉄道職員表進達ノ件

付属書 右職員表

往信第三〇号

大正十二年二月一日

(一月二十八日接受)

在九江領事館

事務代理 藤井 啓一(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

本件ニ関シテハ客年一月四日付往信第一号ヲ以テ報告申

六 南潯鉄道関係 四五〇

兼理運輸課主任 黃壽喬	兼理計核課主任 潘鳳林
警務課主任 田玉林	電務課主任 經拍年
九江站々長 夏克勤	南昌站々長 秦炳文

## 養路處

處長 趙綜	測繪課主任 劉廷贊
工務課主任 蕭勉	材料課主任 鄧思溫
北段々長 何策	南段々長 蔡報瑤
機務処	

處長 傅有慶一

四五一 二月二十五日

(在九江藤井領事館事務代理ヨリ  
内田外務大臣宛)

## 南潯鐵道總理蔡儒楷ノ病故並ニ後任總理問題

## 二閔スル件

機密往第一六号

(三月十四日接受)

大正十二年二月二十五日

在九江領事館

事務代理 藤井 啓二(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

本件ニ関シテハ本月十九日発拙電第一〇号ヲ以テ報告申進置候處同電確メ旁々後任總理問題ニ関シ概況左ニ報告申進候

## 左記

蔡總理ハ客冬以来健康優レサリシニ依リ医師ニ就キテ診療中ナリシカ旧年末頃ヨリ病勢著シク進ミ本月十八日遂ニ逝世セリ年五十四歳長子ハ目下米國ニ留学中ニシテ家族ハ北京ニ在リ不日南昌ニ於テ葬儀ノ筈、蔡總理ハ一昨年八月履任在職年余ニ過キサリシモ路政ニ対シテハ頗ル興利除弊ニ努メタルカ中途ニテ病逝シタル以上路政ハ一日モ忽ニスヘカラサルニ依リ鐵路董事局ハ北京ニ連電シテ協理張肇達(張勲ノ甥ニシテ今ハ養子ナリト云フ)ノ返省ヲ促シ以テ路事ヲ支持ゼンコトヲ請フト共ニ熊座弁ヲ暫行總理ニ公推シ以テ現状ヲ維持シツツアリ

後任總理問題ニ閔シ株主方面ニ於ケル意見ハ頗ル紛岐ナリト雖要スルニ次ノ二派ニ外ナラス

一派ハ株主總会ヲ開キ速ニ總理ヲ選出スヘク總理選出ニ至ルマテハ現状ヲ以テ維持セントスル一種ノ消極態度ヲ持シ他ノ一派ハ正式ナル株主總会ニ於テ總理ノ選出ヲ見ルマテ

ハ董事會ニ於テ責ヲ負ヒ張協理ニ依リテ總理ノ職務ヲ執リ路政ヲ維持スヘク而シテ正式總理選出ニ當リ交代スヘキナリ董事會ノ一見解ニ依レハ蔡總理ハ任期ニ満タスシテ病逝シタレハ當ニ協理ヲ昇任セシメ協理一職ハ即チ座弁ヲ昇任セシムヘク座弁ノ一席ハ終、協理ヨリ改メテ聘任スヘキモノナリト此ハ要スルニ總理ノ改選ハ引イテ董事ニ影響スルニ依リ位置ヲ保全セシメンカ為ノ目的ニ出テタル説ニ外ナラス又一説ニ依レハ熊座弁モ總理ノ地位ヲ獲得セント湧心勃々タルモノアリテ張協理ヲ以テ總理ニ昇任セシムルモ張ハ從来同様北京ニ在リテ路事ヲ見サルヘク而シテ熊座弁ハ協理ニ昇任セハ其実總理ノ職權ト何等異ル所無キニ依リ熊ハ既ニ董事方面ニ手ヲ廻シ居レリト

南昌方面ニ於テハ張協理ニ對シ極力反対シ九江方面ハ張協理ノ總理職權代行ニ贊成シ居レルモノ少カラス  
株主四百八十權ノ代表陳煥章ナルモノノ張反対ノ特函ニ依レハ

南潯路危急ノ秋ニ当リ事變横生スルハ該路将来ノ為深憂ニ堪ヘス此ノ機ニ乘シテ世上蝕路ノ一味ハ張協理ノ推戴ヲ謀ラントスルモノ多シ張ハ曠職既ニ久シク協理ノ資格サヘナ

右ノ外後任總理逐鹿ニ付テハ地方及ヒ党派關係ニ依リ四派ニ分ツヲ得ヘシ

甲派ハ即チ一昨年八月總理改選ノ際蔡總理ト競争シタル謝遠涵ノ一味ニシテ謝ハ省長就任問題ノ解決容易ナラサルニ依リ本月十五日赴寧シタルカ後任總理問題ノ起ルヤ直チニ運動ヲ開始シ既ニ株主買収ニ着手シタリ

乙派ハ陶家瑤ノ一派ニ属シ陶ハ蔡總理ト同シク南昌人ナレハ地方民ノ多數ハ擁陶繼任ヲ主張シ以テ南昌人ノ南潯鐵道ニ於ケル勢力ヲ鞏固ナラシメツツアリテ有力ナル候補者ナ

ルモ九江方面ニ於テハ反対スルモノ少カラス

丙派ハ即チ陳彦通ニシテ既ニ股東ノ買収ヲ進行シツツアリ  
陳ハ總理ノ一席ニ垂涎セル既ニ一日ニアラサルモ其親近戚  
友ハ反対シツツアルト共ニ株主方面ニ於テモ彼ノ年少閱歴  
ニ乏シキヲ以テ恐ラクハ又其運動ヲ肯セサルヘシ

丁派ハ即チ九江ノ株主ニシテ李盛鐸ヲ擁護セントスルモノ  
幾ント半数以上ヲ占ム李ハ前年失脚後モ南潯路ヲ忘レス現  
ニ機ニ応シテ乗リ出スヘク既ニ運動ニ着手シ股東方面ト疏  
通ヲ計リ早日株主總会ヲ召集シ以テ路政ヲ維持センコトヲ

求メタリ

以上四派ノ外多數ノ株主ハ尚張協理推戴ヲ主張シツツアリ  
要スルニ逐鹿者ハ頗ル多シト雖モ前記数派ハ重ナルモノナ  
リ  
敍上ノ如キ新聞記事材料及田中顧問等ノ談話ヲ綜合スルモ  
目下ノ處尚混沌トシテ出色者ノ出テサル限り今後選出ヲ見  
ルマテニハ多大ノ経緯ヲ要スヘク李盛鐸ニ對シハ東亞側モ  
別ニ援助スルカ如キコト無カルヘク張協理ハ他ニ銀行ヲ經  
營セルニ依リ之又去就不明ナルモ本月二十五日頃天津ヲ發  
シ回省ノ途ニ就キタル趣ニ有之候

本鉄道ハ最近漸ク改善ノ緒ニ着キツツアル際ニ付督軍等ニ  
對峙シテモ遙色ナキ人物ヲ要スル次第ナルモ目下江西人士  
ニテハ總理タラント希望スルモノ少カラサルモ適任者無之  
様認メラレ候

尚江西出身者ノ鐵道總理トナリ勢力ヲ張ルコトハ江西政治  
家連ノ檻頭センコトヲ最モ憂慮セル直隸系ノ好マシカラサ  
ル所ナルヤニモ被察候

本信写送付先 在支公使

四五二 三月十日 在九江藤井領事館事務代理ヨリ  
南潯鐵道協理張肇達ノ來潯及ビ後任總理問題  
ニ閑シ統報ノ件

機密往領第一八号 (三月二十六日接受)  
大正十二年三月十日 在九江

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

事務代理 藤井 啓二(印)

南潯鐵道總理蔡儒楷ノ病故及後任總理問題ニ閑シテハ客月

二十五日付機密往第十六号拙信ヲ以テ及報告置候處其後北京ニ常住スル協理張肇達ハ董事會ノ召電ニ依リ本月一日來潯スルヤ直チニ總理ノ職務ヲ代行スヘキ旨ヲ宣布シタルモ先是兼テ代行總理タラン野心ヲ藏スル熊坐弁ハ公司及總理ノ職印ヲ悉ク南昌ニ携行シテ鐵路關係ノ有力者ト接洽シ拒張運動ヲ試ミタル結果董事會ハ態度ヲ豹変シテ張ノ晉省ヲ阻止セリ等ノ說アリシ為メ頗ル進退兩難ヲ感シ駐京弁事所及張勲ニ弁法ノ請示ヲ求ムルト共ニ在潯株主ニ、三ノ董事ト接洽シ善後策ノ協議ニ寧日ナク活動シツツアル様見受ケラレ候處前總理ノ下ニ志ヲ得サリシ一味ヨリ慫憚サレ路政ノ改革ニ着手セシカ就中

故蔡總理ハ營業ノ拡充上南昌附近ヨリ輸出ノ土貨ニシテ鄱

陽湖ノ水運ニ依ルモノ少カラサルヲ以テ湖上輪船公司ト競争之ヲ圧倒シ之等ヲ贛江上流ノ運貨ニ転スルノ余儀ナカラ

シメ兼テ上流奥地地方ニ於ケル物資ノ移動ヲ誘致シ南昌ヨリ鉄路ニ吸收セン計画ニテ車務科長鄭李穆ヲシテ九江福康公司ヨリ小輪船四艘ヲ年一万八千元ニテ賃借シ之ニ対抗セシメ居リシカ株主中ニハ此ノ傭船契約ニ対シ疑惑ヲ抱クモノ多ク且ツ鉄路現在ノ輸送力ニテハ到底是レ以上ノ積送不

可能ナリトテ煩言多カリシカ蔡ノ病故後果然問題トナリタル處張協理ノ来潯スルヤ鄒科長及漆庶務主任ヲ曠職ノ故ヲ以テ免職セシムルト共ニ該公司ニ派員調査セシメタル結果約一年間ニ欠損二万六千余元ノ巨額ニ達セリトテ董事局ニ報告書ヲ提出シタル趣ナルモ一部株主間ニ於テハ張ハ鐵道職員等ニ対シ多ク知レル所ナキニ拘ラス一味ノモノニ使嗾セラレテ更迭ヲ即行スルハ更ニ風潮ヲ高ムモノナリトテ批難ノ声ヲ放チ居候董事會ハ張協理ノ代理總理タラントスルニ当リ定款ニハ之等ニ付載明ナキニ依リ手続等ニ閑シ明瞭ナル見解ナキモノノ如ク公司条例第百五十八條ノ解釈ニ依リ其權限等ニ閑シ種々論議サレツツアリシカ本月三日左ノ議決ヲナシタル趣ニ有之候

一、熊坐弁ヨリ送付ノ總理印綬ハ董事局ニテ暫ク加封保管  
スルコト

二、張協理ニ対シ速カニ來省シ路務ニ対シ協同維持セんコトヲ電促スルコト

三、路務處理ノ便宜上即日總公司ヲ南昌ニ移スコト

熊坐弁ノ職印等ヲ董事局ニ保管ヲ託セシハ表面上正当ナル手続ノ如キモ其實張協理ノ代行ヲ阻止セントスル奸策ニ外

ナラス熊ハ別ニ手腕家ニアラサルヲ以テ推戴セントスルモノ少キニ依リ自ラ總理タルノ資格ニ合セサルヲ愧チセメテ今回ノ總理病故ニ當リ坐弁ノ故ヲ以テ總理代行タランコトハ将来改選ノ際再ヒ坐弁ノ地位ヲ得ヘシトノ見地ヨリ張理ノ在京中頻リニ其來省ヲ婉曲ニ阻止スル打電ヲナシタルモ張ノ來潯スルヤ今回被免サレタル鄭ト共ニ董事方面ニ迎合シ拒張運動ヲ試ミ居ル趣ニ有之候

張ハ北京ニ於テ商業銀行總理及華義銀行重役ヲ兼務シ近ク又一民業銀行ヲ組織セントシツツアリシ為メ久シ駐潯シ能ハサルニ依リ一両日中ニ董事會ト磋商ノ為晉省スル趣ニ有之候

南潯總理ノ職務タルヤ督軍等ニ對シ財權ヲ堅守スル而已ナラス大株主タル張勲ニ對シテモ相當ノ諒解アルト共ニ亡省鐵路ナリト論議サルル省議會方面ヲ操縱スル手腕モ要シ且ツ北京方面ニ對シテモ相當ノ聞エアル人物ヲ要スル處ナルカ候補者ハ既報ノ外其後ニ於ケル頭著ナルモノヲ挙クレハ趙世煊ハ本省南豐ノ名家ノ出ニシテ七、八年前協理タリシコトアリ京漢及四鄭鐵道等ニモ經驗ヲ有シ支那鐵道界ニテハ著名ノ聞エアレハ交通部方面ニ對シテモ好評ナルヘク唯

四五三 四月十九日 白岩東亞興業常務取締役ヨリ  
芳沢亞細亞局長宛

### 南潯鐵道公司ノ營業近況並ビニ保息取立ニ關

#### シ報告ノ件

付屬書一 南潯鐵道最近營業狀況概要（大正十二年四月）

二 大正十一年十二月七日付橘東亞興業會社代表ヨ

リ蔡南潯鐵道總理宛書信訳文

三 民國十一年十二月二十七日付田江西省財政廳長

ヨリ南潯鐵道公司宛公函訳文

保息金徵收並ビニ交付方ニ付通告ノ件

大正十二年四月十九日

東亞興業株式會社

常務取締役 白岩 龍平

外務省

亞細亞局長 芳沢 謙吉殿

江西南潯鐵道公司ノ營業近況、保息取立ノ成績等ニ関シ諸報告中ヨリ別紙ノ通り摘要御報告申上候

尚同社總理タリシ蔡儒楷ハ過クル二月病ヲ以テ死去其後任

ハ株主間ニ於テ選考中ニテ未定ニ有之候前總理ハ相當ノ経歴ヲ有シ職務ニ熱心ナリシ為其死去ハ鐵道公司ニ取り打撃

李烈鈞ト關係アルヤニ伝聞サルルニ依リ民黨派ノ擡頭セントスル折柄蔡督理ヲ始メ直隸系ノ潛勢力尚ホ大ナル本省トシテハ却ツテ其實現ニ煩セスマト思ハルモ省議會方面ニ對シテハ受モ宜シカルヘク目下ノ候補者中出色者ナリト田中、高比良両顧問ハ語り居リ候次ニ万繩拭ハ張勲ノ參謀長タルコト多年ナルカ張勲ハ蔡總理ノ病故スルヤ後任總理トシテ推舉セントスル意アルモノノ如ク伝ヘラレ万モ亦乘氣ナルモ株主方面ニテハ万氏ノ總理タル如キコトアランカ其ノ才ヲ用フルニ違フコト甚シキモノアラント反対ノ声少カラス候

尚既報ノ人物中別ニ際立チタル運動者無之モ折角蔡總理ニ依リテ改善ノ緒ニ就キ漸時增收ヲ示シ来レル本鐵路ノ生育期ニ際シ斯クノ如ク紛争ニ時日ヲ徒消スルハ該路将来ノ為メ遺憾ノ次第ニ有之候

右其後ノ成行及概報候也 敬具

本信写送付先 在支公使

（付屬書一）

### 南潯鐵道最近營業狀況概要

（大正十二年四月）

一、經營狀態ノ改善  
大正十一年五月第三次統借款ノ規定ニヨリ招聘就任ヲ見タル当社推薦ノ會計顧問及技術顧問ハ公司ノ經營改良方針ト相俟チ一意專心其發展ニ向ツテ指導ト監督トニ力ヲ臻シ着着実績ヲ挙ケツツアリ

即チ改良工事ニ就テ見ルニ線路ノ改修ニ於テハ枕木、軌路ノ補修ニ怠リナク鐵橋ニ關シテハ近ク材料全部ノ整備ヲ見、本年五月起工九月竣工ノ予定ナリ又機関車輛ニ対シテハ新タニ修理機械ヲ購入シ必要ナル修理ヲ加フヘキ手配ヲ了セリ

從ツテ今秋鐵橋完成後ニ於テハ運輸組織ヲ改革シ輸送力ヲ拡充シ以テ収入増加ニ資スルヲ得ヘシ

會計狀態ニ就テハ會計顧問ニ於テ收支ヲ嚴格ニ監督シ一方保息徵收ヲ嚴ニシ着々整理ヲ實行シツツアリ

## 二、営業収入

両顧問就任以来公司内ノ刷新又頗ル見ルヘキモノアリ左記ニ掲クルカ如ク営業収入ハ逐次増加シ来リ昨年度ハ殊ニ省内ハ兵乱ノ巷ト化シ車輛ノ多クハ軍事輸送ニ転用サレ運輸系統ノ上ニ幾多障害ヲ見、運輸力ノ削減ト沿線出貨ノ夥シキ減少ヲ醸シコレニヨリ蒙レル打撃軽微ナラサリシニ拘ラス猶前年ニ比シ約一割五分ノ増率ヲ收メ得タリ、コノ增加ハ勿論十月中旬以降ニ於ケル運賃ノ値上（約二割方）ヲ断行セルニ因ルヘシト雖モ如上ノ偶發的禍因トコレヲ相殺スルモ事實上営業刷新ノ機運ニ向ヒツツアルハ是ヲ認ムルニ難カラス

営業収入 単位元	十 年	十一 年	十二 年
	一月 五月六、四五一 二月 二六、八八〇 三月 五五、三七六 四月 四五、二〇五 五月 五一、八四四 六月 四二、四八八	一月 五五、六七三 二月 二二六〇、五五二 三月 四五、二四八 四月 四六五〇、〇七一 五月 三二五〇、九一〇	一月 五五、六七三 二月 二二六〇、五五二 三月 四五、二四八 四月 四六五〇、〇七一 五月 三二五〇、九一〇
八 月 三三、〇五二 九 月 四一、一四〇 十 月 四六、〇〇二 十一 月 四七、一九六 十二 月 四五、五四三 合 計 五夷、六〇六	八 月 三三、〇五二 九 月 四三、九六六 十 月 六九、四四、三七九 十一 月 五八、六〇、二〇九 十二 月 六四、四七三 三〇、一九七	八 月 三三、〇五二 九 月 四三、九六六 十 月 五〇、三九八 十一 月 五八、六〇、二〇九 十二 月 六四、四七三 七三	八 月 三三、〇五二 九 月 四一、一六七 十 月 四九、五〇、三九八 十一 月 五八、六〇、二〇九 十二 月 六四、四七三 七三
七 月 三八、三二四 八 月 四九、四七、九〇一 九 月 四一、一四〇 十 月 四六、〇〇二 十一 月 四七、一九六 十二 月 四五、五四三 合 計 五夷、六〇六	七 月 三三、〇五二 八 月 四一、一四〇 九 月 四三、九六六 十 月 六九、四四、三七九 十一 月 五八、六〇、二〇九 十二 月 六四、四七三 七三	七 月 三三、〇五二 八 月 四一、一六七 九 月 四九、五〇、三九八 十 月 五八、六〇、二〇九 十一 月 五八、六〇、二〇九 十二 月 六四、四七三 七三	七 月 三三、〇五二 八 月 四一、一六七 九 月 四九、五〇、三九八 十 月 五八、六〇、二〇九 十一 月 五八、六〇、二〇九 十二 月 六四、四七三 七三

八 月 三三、〇五二 九 月 四一、一四〇 十 月 四六、〇〇二 十一 月 四七、一九六 十二 月 四五、五四三 合 計 五夷、六〇六
八 月 三三、〇五二 九 月 四一、一六七 十 月 五八、六〇、二〇九 十一 月 五八、六〇、二〇九 十二 月 六四、四七三 七三
八 月 三三、〇五二 九 月 四一、一六七 十 月 五八、六〇、二〇九 十一 月 五八、六〇、二〇九 十二 月 六四、四七三 七三
八 月 三三、〇五二 九 月 四一、一六七 十 月 五八、六〇、二〇九 十一 月 五八、六〇、二〇九 十二 月 六四、四七三 七三
八 月 三三、〇五二 九 月 四一、一六七 十 月 五八、六〇、二〇九 十一 月 五八、六〇、二〇九 十二 月 六四、四七三 七三

## 三、保息徵収状況

同鐵路現在ノ営業収入ヲ以テシテハ尚僅ニ其営業費ヲ償ヒ得ルニ止マリ未タ当社借款ノ元利償還ノ財源トスル能ハサル現状ナルヲ以テ公司カ財政厅ヨリ得ル保息収入ヲ以テ補填セシムルコトヲ規約セシメ会計顧問ヲシテ之カ徵収方ニ付厳重ナル監督ヲナサシメ以テ遺漏ナキヲ期セリ、然レトモ政局ノ動搖ハ動モスレハ徵収ノ困難或ハ不確実ヲ惹起シ且ツ政費ニ流用サルルコトナキヲ保シ難キヲ以テ更ニ保息収入ノ確保ヲ期スルタメ別紙ノ通り旧臘財政厅ト鐵路公司トノ間ニ文書ヲ交換シ省内各県ニ於テ徵収スル附加税並ニ輸出米穀ニ対シ徵収スル備荒經費等ノ収入ハ一切本鐵路ノ保息ニ充当スルコト、毎月取稅局ヲシテ公司ニ對シ其徵収額ノ実数ヲ報告セシムルコト及公司ニ對シ隨時同序検査權

ヲ賦与セシムルコト等ノ要訣ヲ規約セシメ本年頭初ヨリ之カ實行ヲナシ來リシカ政局ノ影響其他ニ因リ該徵収額ハ予想ヲ裏切り如何ニモ過少ナルヲ以テ爾來規約ヲ確実ニ実行増収方ニツキ銳意尽力中ナリ

本年一月以降ニ於ケル保息徵収額左ノ如シ

一月	銀一二、三六六・ <sup>(弗)</sup> 二五
二月	銀一〇、二七八・一五
三月	銀一一、二九九・一五

以上

## (付属書二)

大正十一年十二月七日付橋東亞興業會社代表ヨリ蔡南満鐵路總理宛書信訳文

保息収入ノ確保方ニ關スル件

拝啓保息本年度ニ於テハ著シク減額シ居ル狀態ニアリトノ

事當局者ノ不誠意ハ實ニ心外且痛心ノ至リニ候右ニ付小生

此回貴地へ出張貴總理ト共ニ南昌ニ赴キ親シク當路官憲ニ

會見ノ結果本年度保息力當局者交迭ノ都度他ニ流用セラレ

金額ハ極メテ僅少ナルコトヲ發見シ當局ノ對外信用ヲ無視

東亞興業會社  
代表 橋 三 郎

二、民国十二年一月ヨリ起リ保息ノ徵収額ハ毎旬鐵道公司ヘ報告セシムルコト並ニ右徵収額確実ナルヲ示ス為メ鐵道公司ヨリ隨時人員ヲ財政厅ニ出張セシメ徵稅関係書類ノ取調ヲナスコト

三、毎月末ニ取立額ノ全部ヲ鐵道公司ヘ交付セシメ敝社利息ノ償還ニ充當セシムルコト

利息ノ償還ニ充當セシムルコト

十一月十二月七日

## 六 南潯鐵道關係 四五四

四〇〇

總理 蔡 儒 楷殿

(付屬書三)

民国十一年十二月二十七日付田江西省財政廳長ヨリ南潯鐵道公

司宛公函訖文

保息金徵收並ビニ交付方ニ付通告ノ件

拝啓鐵路保息金ハ外債ニ關係スル資金ニ有之候ニ付從來  
當庁ニ納入ノ上銀行ニ預入レ期限ニ至リ交付出來候様処理  
シ來リ候モ本年廣東ト戰端ヲ開キ軍資金ノ調達ニ窮シ候處  
遂ニ銀行預入ルヘキ金額ハ流用サレ各縣ヨリ正税及付加税  
ニ論ナク概シテ之ヲ軍資金トシテ提供致候ニ付路局ニ交付  
スヘキ金無之ノミナラス税金ノ徵收納入モ益々紛糾多ク生  
シ候當庁ニ於テモ右狀況ヲ察シ之カ善後策ヲ講セスハ信用  
ヲ維持シ得サルヘキヲ以テ本年十一月末マテニ徵收セル保  
息稅銀壹万七千元ノ交付方ヲ中國銀行ニ命シ置キ貴公司ニ  
モ之カ領收方御通知致候次第ニ御座候而テ茲ニ次ノ事ヲ声  
明致候即チ以前ニ流用セル金額ハ年末ニ之ヲ查明ノ上其返  
還策ヲ講シ今後即チ十二年一月ヨリ毎月ノ保息徵收額ハ當  
庁ヨリ貴公司ニ之ヲ通牒シ並ニ湖口竜開河兩稅局長ニ徵收  
額明細及右金額取調用紙ヲ毎月貴公司ニ送付スル様命令致  
トナリ

在支公使ヘ転電シ上海、漢口へ暗送セリ

第一六号

南潯鐵道董事局ハ後任總理選舉ノ為メ株主總会ヲ七月十日  
南昌ニ於テ開クコトニ決定セリ右ニ関シ高比良顧問ノ語ル  
所ニ依レハ目下候補者トシテ呼声高キハ現總理代理張肇達  
及董事包竹峯（江西銀行々長）ノ両名ナルカ若シ陶代理省  
長著任せハ趙世煊（前四洮鐵道總理）有望トナラムトノコ  
トナリ

四五五 六月十四日（発）  
内田外務大臣宛（電報）  
南潯鐵道公司總理ヲ選舉スペキ同公司株主總  
会ノ開会ガ無期延期トナリタル件

第二九号

往電第二六号ニ関シ

七月十日開會ノ筈ナリシ南潯鐵道株主總会ハ今回無期延期  
トナレリ  
右表面ノ理由ハ目下江西省戒嚴令施行中ハ該期間内ニ集会  
ヲ為スコト穩当ナラズト言フニアルガ実ハ總理候補者タル

置候猶各縣ノ徵收スル地券付加税及統稅局ノ徵收スル百貨  
統稅ニ對スル五釐地方付加税並ニ湖口竜開河兩稅局ノ徵收  
スル移出二分正税ニ對スル五釐地方付加税及米穀移出稅ニ  
對スル飢餓付加税等ノ稅金ハ專ラ鐵路保息ニ致シ候十二年  
一月一日ヨリ各縣及稅局ヨリ毎月其徵收額ヲ貴公司ニ報告  
シ每旬徵收稅金ノ數ヲ尽シテ當庁ニ納入ノ上中國銀行ニ別  
項預金トシテ預入レ不足ヲ避ケル為メ軍資金其他ニ流用ス  
ルヲ得ス當庁ニ於テ毎月末中國銀行ヲシテ徵收全額ヲ貴公  
司ニ交付セシメ並ニ隨時貴公司ヨリ人員ヲ當庁ニ派シ金額  
ヲ取調フルヲ承諾致候

右各縣及稅局ニ通告スルト共ニ茲ニ得貴意候

右各縣及稅局ニ通告スルト共ニ茲ニ得貴意候

拝 具

南潯鐵道公司

御中

府長 田 宝 栄

四五四 六月五日（発）  
内田外務大臣宛（電報）

南潯鐵道公司後任總理ノ選舉ニ關スル件

張協理ハ當選覓束ナキヲ見込ミ可成長ク代理總理ノ職ニ在  
リテ同鐵道ノ實權ヲ握ラムガ為メ右ノ如キ例ヲ口實トシタ  
ルモノナリトノ事ナリ  
在支公使ヘ転電シ上海漢口へ暗送セリ

四五六 七月九日  
内田外務大臣宛

南潯鐵道公司ノ營業狀態ニ關シ報告ノ件

機密往第四二号

大正十二年七月九日

在九江

（七月十九日接受）

領事 江戸 千太郎（印）  
外務大臣伯爵 内田 康哉殿

南潯鐵道公司ハ逐年增收ヲ示シ來リ最近ニ於テハ日収一千  
元乃至二千五百元ニ達シ其營業費ヲ差引クモ一日平均約五  
百元ノ剩餘ヲ得ルニ至リタル趣ニ有之候ヘ共之ヲ東亜ニ支  
払フヘキ半期利息三十三万余円ニ比スルトキハ尙言フニ足  
ラサル業態ニ有之從ツテ毎利息支払期ニ際シテハ臨時小借  
款等ニ依リ弥縫スルヲ常ト致シ來リ候次第ニテ現ニ六月二

十五日東亞興業漢口出張所主任カ本年上半期分利息取立ノ為來潯シタル際ノ如キ同公司ニ於テハ急遽台銀當地支店及江西銀行等ニ対シ短期借款三十萬元ノ申込ヲナシタルモ何レモ之ニ応款セサリシ為同主任ハ本社ヨリ本期ハ少クモト五万円ヲ取立ツヘキ内命ヲ受ケ居リシニ拘ハラス漸ク保息（南潯鐵道ノ外債利子支払ニ備フル為省民ヨリ契稅等ニ依リ賦課スル一種ノ捐稅）四万五千元及公司側ニ於テ当地交通及駿業兩銀行ヨリ借入レタル四万元ヲ領得シタルニ過キ

サリシ趣ニ有之候從米同鐵道ニ対シ支給サレタル保息ハ毎年三四十萬元ニ達シタルニ拘ラス今回右ノ如ク激減ヲ見ルニ至リタルハ省當局側ニ於テ軍政多事ノ際トテ財政困窮ヲ來セルト共ニ鐵路公司側ニ於テモ蔡總理ノ逝去後中心人物ヲ欠キ省當局ニ対シ所謂押ノキカヌ結果ニアラスヤトモ被察候

將又同公司側ニ於テモ張協理ハ利息支払期ヲ差控ヘナカラ約二十萬元ノ車輛及枕木ノ購入ニ着手シタルノミナラス之力購入ニ当リ漢口揚子公司トノ間ニ私曲ヲ行ヒタル等ノ記事當地及南昌發行ノ新聞紙上ニ散見致候ニ付高比良会計顧問ニ質シタル處右ハ董事局ハ勿論同顧問ヘモ諮詢コトナク

問ニ質シタル處右ハ董事局ハ勿論同顧問ヘモ諮詢コトナク告申進候

本信写送付先 在支公使、上海、漢口各總領事

敬具

四五七 十一月十六日 在九江江戸領事ヨリ  
伊集院外務大臣宛  
南潯鐵道公司ノ整理改善ニ関シ意見具申ノ件  
付屬書 同意見書

機密往第六一號  
(十一月三十日接受)

大正十二年十一月十六日

在九江

領事 江戸 千太郎(印)

外務大臣男爵 伊集院 彦吉殿

南潯鐵道ニ關スル件

本件ニ關シ本年七月九日付機密往第四二号拙信ヲ以テ及報告置候処目下東亞興業ニ対スル後期利息支払期日切迫シ居ル折柄ニ付同鐵道内部ノ現状ニ鑑ミ之ヲ整理改善ニ關スル卑見並ニ将来小官ノ同鐵道ニ対シテ採ルヘキ態度心得等ニ關シ別紙ノ如ク報告旁々及請訓候間右御查閱ノ上至急何分ノ儀御回訓相煩度此段申進候

敬具

本信写送付先

在支公使 在上海總領事

(付屬書)

南潯鐵道ニ關シ卑見開陳ノ件

(極秘)

甲、同公司内部ノ狀態

南潯鐵道ノ營業狀態ハ開通以来別ニ改善的施設ヲ加ヘスト雖モ周囲ノ情形良好ナル為逐年約十萬元ノ自然增收ヲ示シ來リ漸次進展ノ傾向ヲ呈シツツアル処目下架換工事

進行シタルモノニテ為ニ張協理反対派ヨリ誹謗セラルルニ至リタル次第ナルヘシトノコトニ有之候

尤モ同公司ノ業態ハ第三次統借款ニ依ル鐵橋ノ完成並鐵路及機關車ノ修繕等ニ依リ将来列車ノ運轉回数ヲ倍加(目下往復一回宛ヲ二回宛トナス計画)スルニ至ラハ自然其収入ヲ増加シ從ツテ其収益中ヨリ東亞ニ対スル利息ヲ支払ヒ得ルカ如キ状態ト可相成カトモ被察候処先般來屢次報告申進候如ク同公司總理選舉問題發生以來同公司關係者ハ張協理推倒ノ両派ニ分レ互ニ軋轢スルノ結果種々忌ハシキ風評等新聞紙上ニ散見スルハ我方ト特殊關係アル同鐵道ノ為遺憾ノ至リニ堪ヘサル次第ニ有之候ニ付何等御参考迄ニ此段報告申進候

本信写送付先 在支公使、上海、漢口各總領事

敬具

四五七 十一月十六日 在九江江戸領事ヨリ  
伊集院外務大臣宛  
南潯鐵道公司ノ整理改善ニ關シ意見具申ノ件  
付屬書 同意見書

機密往第六一號  
(十一月三十日接受)

又ハ不正商人ト結託シテ運賃ヲ誤魔化シ居ル事想像ニ難

カラス

右ニ閔シ同公司邦人顧問ニ対シ数回ニ亘リ之ヲ質シタル  
處公司内部ノ抗争ニ伴ヒ甚シク事務渋滞ヲ来シ居レルヤ  
ニテ書類及伝票等ハ材料購入後二、三ヶ月目ニ至リ漸ク  
廻付シ來レルカ如キ現状ナレハ此等不正ヲ除去スルニ多  
ク其時機ヲ失シ從ツテ各部主任等モ前頭不正問題ニ対シ  
テハ消極的弥縫ヲ事トシ居ルノ常態ニテ殊ニ張協理就  
任以来其一味ノ者ハ巧ニ同協理ヲ利用シテ同公司ニ入り  
込メル結果職員ノ如キハ前總理時代ニ比シ許多ノ増員ヲ  
來セルノミナラス費途ノ明カナラサル支出額ル多額ニ達  
シ居レル事及材料ノ如キモ市価ヨリ懸ケ離レタル高値ヲ  
以テ購入シ居レルモノモ少カラストノ事ニテ邦人顧問ノ  
意見ニ依レハ若シ此際整理ヲ断行スレハ支出ニ於テ二割  
ヲ削減シ収入ニ於テ又二割ヲ増加シ得ヘキ事確実ナリト  
ノ事ナリ（尤モ右様ノ乱雜ハ支那人ノ通弊ニシテ從来ト  
テモ裏面ニ於テ之等ノコトナキニアラサリシモ外部ニ対  
シテハ鬼モ角相当ノ説明ヲナシ其信用ヲ維持シ得タルニ  
拘ラス現今ハ想像ノ外乱秩ヲ極メ全ク弛廢シ居ルト言フ

ノ外ナシトノ事ナリ）

翻ツテ江西省民ノ同鐵道ニ対スル態度ヲ観ルニ該路カ日  
款一千万円ヲ有スル事ハ弘ク周知セラレ居ルノミナラス  
同公司ニ於テ從來了得シツツアル貨股（最初株券募集ノ  
際官庁ノ許可ヲ得テ九江車站及湖口ニ於テ同地通過ノ貨  
物ニ対シテ一種ノ税賦ヲ課シ一定ノ金額ヲ收メタルモノ  
ニ対シ株券ヲ与ヘタリ販股トハ即チ此ノ株券ナリ）ハ江  
西省民カ皆直接間接ニ同公司ニ投資シタルト同様ナレハ  
何レモ株主タル権利ヲ有スルモノナリトテ同公司ノ情弊  
肃清及路權ノ喪失ヲ防止スヘシ等ノ議論ヲモナスモノ多  
ク此等ハ新聞紙ノ論評ト相俟ツテ巷間亡省鐵路ノ声頗ル  
高カリシヲ以テ本年八月同鐵道董事局ハ監查員ヲ特派シ  
テ其業態ヲ調査セシメントシタル処株主間ニ於テハ之ヲ  
以テ頗ル機宜ニ適シタル措置トシテ其結果ヲ注目シ居タ  
ルニ拘ラス張協理一派ノ者カ帳簿ノ查驗ヲ拒絶シタル等  
ノコトアリ又目下張協理ハ叔父張敷逝去ノ為メ北上シ座  
弁熊亦晉京中ニテ鐵路總局中中心人物ナク從ツテ其不統  
一乱雜一層甚シキ為メ更ニ批難ノ声ヲ高メ居レリ

## 乙、刷新及改善方策

内部ノ状態右様ノ次第二付仮令外部ノ業態前陳ノ如ク年  
年自然増収ノ見込アルトモ将又将来車輛運轉回数倍加ス  
ルトモ若シ今日ノ如キ内部ノ状態持続スルニ於テハ東亜  
ニ対スル利息支払不能、依然トシテ改マル事ナカルヘシ  
ト察セラルルニ付本年後期利息期日眼前ニ迫レル折柄左  
ニ改善ニ閔スル卑見ヲ開陳シ以テ御裁量ニ資スル事ト致  
シ度シ

### (一)速ニ総理ヲ選挙セシムル事

蔡前總理ニ依リテ幾分改善ノ緒ニ就キ居タル同鐵道カ同  
氏ノ逝去後前頭ノ如キ忌ハシキ不正問題ヲ惹起シ其弊害  
甚シキニ至リタルハ畢竟同公司主宰ノ責任者タル總理ヲ  
欠クニ基クモト察セラルルニ付此際速ニ正總理ノ選挙  
ヲ行フ様東亜側ヨリ注意ヲ発スルカ又ハ同社推薦ノ邦人  
顧問ヲシテ其補選方申入レシムル事目下ノ急務ナリト察  
セラル尤モ選挙ノ結果現張協理カ總理トナレハ内部ノ弊  
害依然タルヘシト懸念セラレサルニアラサルモ張協理ト  
雖モ責任アル總理ノ席ニ就クニ於テハ今日ノ如ク腰掛的  
投ケ遺り的ノコトヲ慎シムニ至ルヘク又内部職員側ニ於  
テモ總理決定シテ執務スルニ至ラハ今日ノ如キ紊亂不統  
六 南満鉄道関係 四五七

### 一ノ状態カ漸次改マルニ至ルヘシト察セラル

尚張協理ハ自己ノ立場保全上寧口東亜ノ勢力ヲ援用ゼン  
コトヲ画策シ居ルヤニ察セラルル処本年六月總理選挙問  
題ノ論議セラルルヤ東亜側ノ有力者間ニ於テ同協理ノ推  
戴運動ヲ企図シ当地一邦人顧問ヲシテ暗ニ之ヲ援助セシ  
メントシタル形跡アリトナルカ若シ東亜側ニ於テ  
總理ノ詮衡ニ又ハ之カ選挙ニ干係スルカ如キコトアラハ  
其人物ノ適不適ハ鬼モ角動モスレハ反対派ノ利用スル所  
トナリ民心ヲシテ東亜ノ態度ニ疑惑ヲ抱カシムルノ虞ア  
ルノミナラス若シ其總理ニシテ人物其宜シキヲ得サルカ  
如キコトアランカ結局東亜ハ難境ニ陥ルト共ニ延イテ日  
本借款反対ノ糧ヲ与フルカ如キ事ナキヲ保シ難キニ付總  
理問題ニ対シテハ總テ衆望ノ赴ク所ニ委スル事可然ニア  
ラスヤト察セラルルヲ以テ此点東亜ニ対シ特ニ注意ヲ加  
ヘラレタシ（尤モ日本人側持株例之台灣銀行持株等ヲ東  
亜ノ希望スル總理候補ニ投票セシムルカ如キハ差支ナカ  
ルヘシ）

### (二)顧問設置ノ実効ヲ挙クルコト

東亜カ統借款応款ノ一条件トシテ同社ノ推薦ニ係ル技術

及会計顧問ヲ路政ニ参与セシメタルハ同公司ノ經營ヲシテ誤ナカラシムルニアリタルモノナルニ拘ラス前信所報ノ如ク車輛及材料等約二十萬元ノ購入ニ際シテモ何等邦人顧問力干与セサリシト云フカ如キ或ハ施設改善ニ関スル建築等モ其權威ヲ認メ居ラサル趣ナル處如斯ハ前記顧問設置ノ趣旨ヨリ觀テ頗ル寒心ニ堪ヘサル所ナルノミナラス支那人間ニ於テモ日本借款ノ反影トモ認メラルヘキ両顧問ヲ置クニ拘ラス依然トシテ業態ノ不振ナルヲ批議セル向モアリタルニ付右ニ関シ東亞興業漢口出張所主任及同鐵道顧問ニ就キ同鐵道ニ對スル態度方針等ヲ質シタルニ右ハ東亞本社ニ於テ鐵路ニ對シ断乎タル態度ヲ探り得ス所謂腫物扱視シ居ル結果ニアラスヤト察セラレタル処本官ノ観ル所ニ依レハ我債權確保上ノ正当ナル主張ハ排日風潮尚全ク鎮靜ニ帰セサル今日ト雖モ何等遲疑スルヲ要セサルノミナラス同鐵道ノ刷新ハ一ニ邦人顧問ノ活動ニ俟タサルヘカラサルモノナルニ付東亞ニ於テモ充分之ヲ指導スルト共ニ現行傭聘契約ノ許ス限り充分其機能ヲ發揮セシムル様東亞ニ対シ命令方特ニ注意ヲ与ヘラルル様致度シ尚自下両顧問共ニ銳意路政ニ参与シツツア

## ムル事緊要ナリト存セラル

但シ此場合本官ヨリ省當局ニ対シ保息取立ノ警告等ヲ發

スル事ハ頗ル慎重ニ考量スヘキモノト思考セラル何トナ

レハ若シ本官ノ警告ニシテ其効ナキニ於テハ同鐵路側ヲシテ日本官憲ノ交渉ニ依リテサヘ聲明カサル次第ナレハ如何トモナスヘカラストテ利息不払ノ好口實ヲ与フルニ至ルヘキ惧アルカ故ナリ

## (四)施設改善及経費節減

前項保息取税ハ同公司ノ利息仕払ヲ大ニ緩和スルコト勿論ナリト雖同税ハ素ト該路救濟ノ為ニ出テタルモノナルニ付同鐵路經營本來ノ方針ヨリ論スレハ如斯保息ニ依頼スルコト既ニ好マシカラサル次第ニシテ東亞ニ對スル利息並ニ營業費等凡テ營業収入ヨリ支弁スル様計ラサルヘカラサルコト勿論ナル處目下内部ノ現状ハ甲項記載ノ通りニ付此際大整理ヲ斷行シテ前述邦人顧問ノ計算シ居ルカ如ク少クトモ収入ニ於テ現在ノ二割ノ収入洩ヲ收得スル様又支出ニ於テ二割ノ節減ヲ加フル様ナサシメサルヘカラスト存セラル

右ノ如キ整理ノ断行ハ現在ノ如キ總理ナキ紊亂狀態ニテ

ルモ若シ其間意志疎隔ヲ來シ協調ノ態度ニ出ツル事能ハサルカ如キコトアラハ顧問ノ職能ヲ發揮スルコト困難ナルヘシト察セラルルニ付本官ニ於テモ此点充分注意致シ居レルモ東亞ニ対シ特ニ注意アル様可然御措置アリタシ(三)利息及保息ノ取立

同鐵路公司カ東亞ニ対シ支払フヘキ半期利息ハ三十三万円ナルカ從来ハ保息收入(民國四年十二月江西省ノ官紳相計リ中央ノ許可ヲ得テ右利息仕払ニ充ツル為メ契稅等ニ依リ賦課シタル一種ノ捐稅ヲ省財政廳ヨリ同公司ニ対シ交付スルモノナリ)年額約五十萬元ニ上リタル為メリ利息収納上ノ困難少カリシ處本年上半年ニ於テハ保息四万五千元及公司側ニ於テ當地小銀行ニ就キ短期小借款ニ依リ借入レタル四萬元計八万五千元ヲ東亞カ領得シタルニ過キススクノ如ク統借款後ニ於ケル第一回分利息スラ其四分ノ一位ノ仕払ニ止マルカ如キ公司側ノ不誠實ヲ黙認スルコトハ更ニ同公司側ヲシテ毎期利息ノ不払ニ基ク滯貸ノ風ヲ馴致スルニ至ルヘキニ付省當局ニ対シ嚴重交渉ノ上保息取立ニ遺漏ナカラシムルト共ニ同公司ヲシテ収益中ヨリ利息ニ充ツル為按月控留スル等ノ準備ヲ講セシ

## ハ到底実行不可能ニ付是非共早日總理ヲ決定セサルヘカラスト思惟セラル

## 丙、鐵道ノ将来ニ對スル我方ノ態度

上述ノ改善方策ハ何レモ皆東亞興業ト同鐵路トノ現在ノ契約關係ヲ基礎トシテ論シタルモノナル處今直ニ右方策ヲ実行シ始ムトスルモ支那人ノ通弊トシテ俄ニ其實蹟ヲ挙クルコト困難ナルヘク結局ハ近キ将来ニ於テ四期利息滯納ノ為メ統借款契約ニ依ル同鐵路管理問題乃至ハ同鐵路延長問題等ニ遭遇モサルヘカラサルコトト察セラルニ付之ニ対シ我方ニ於テ如何ナル態度ニ出ツヘキヤハ今日ニ於テ予メ之ヲ考慮シ置クコト必要ナリト存セラル小官ノ観ル所ヲ以テスレハ一般排日ノ風潮全ク終熄セサル限り我方ヨリ管理問題ヲ鐵路ニ迫ルカ如キハ却テ折角平靜ニ向ヒツツアル風潮ヲ再ヒ激成セシムルコトト相成ルヘキ惧アルノミナラス實際ニ於テ仮令風潮ヲ激成セサル迄モ邦人ノ手ニ依リ右管理ヲ実行スルコト不可能ナリト察セラル又延長問題ニ就テモ江西省民カ鐵道ノ利益ヲ了解シ其延長ヲ希望シ居ルコトハ事實ナルモ目下果シテ東亞興業關係者ノ云フカ如キ我資本ニ依リ延長スルノ機既

六 南潯鐵道關係 四五八 四五九

四〇八

ニ熟シ居ルヤ否ヤハ不明ナル点アル上ニ（一面ヨリ観レ  
ハ東亞側ノ延長問題ヲ云々スルハ鉄路救済ヲ口実トスル  
モ実ハ東亞自体救済ヲ目的トスルニアラスヤト察セラル  
ル節ナキニアラス）小官等ノ立場ヨリ看レハ排日風潮ト  
ノ関係並ニ諸外國トノ関係モ考慮セサルヘカラサル次第  
ニ付此亦我方ヨリ提案スルコト不得策ナリト思惟セラル  
右様ノ次第ニ付我方トシテハ周囲ノ事情変化セサル限り当  
分現契約關係ヲ基礎トシ東亞側ヨリ邦人顧問ヲ通シ内部ノ  
廓清刷新ヲ断行セシメ以テ其成績ヲ挙ケシムルノ外良策ナ  
シト存セラルル處右ニ関シ小官ノ採ルヘキ態度ニ就キ注意  
ヲ要スヘキ点アラハ小官心得迄ニ何分ノ儀御回示相煩シ度  
シ

四五八 十二月十八日 在伊集院外務大臣ヨリ  
南潯鐵道公司ノ整理改善ニ關シ回訓ノ件  
亞二機密第二号  
南潯鐵道ニ關スル件  
本件ニ關シ十一月十六日付機密往第六一号ヲ以テ御稟申ノ  
摩清刷新ヲ断行セシメ以テ其成績ヲ挙ケシムルノ外良策ナ  
シト存セラルル處右ニ関シ小官ノ採ルヘキ態度ニ就キ注意  
ヲ要スヘキ点アラハ小官心得迄ニ何分ノ儀御回示相煩シ度  
シ

四五九 十二月二十三日 在伊集院外務大臣ヨリ  
坂田東亞興業代表來潯シ張南潯鐵道公司協理  
二南潯鐵道改善意見書手交ノ件  
付屬書 同意見書  
機密往第六三号  
大正十二年十二月二十三日 在九江  
（大正十三年一月八日接受）  
外務大臣男爵 伊集院 彦吉殿  
南潯鐵道ニ關スル件  
本件ニ關シ本年十一月十六日付機密往第六一号拙信ヲ以テ  
報告旁々及請訓置候處同鐵道協理張肇達ハ久シク北上中ノ  
處過般漸ク帰潯シタル趣ヲ以テ本官ヲ來訪シタルニ付懇談  
御承知ノ如ク支那人ノ通弊トシテ仮令予算ヲ編成スルモ之  
ヲ實行シ其成績ヲ挙クル事頗ル困難ナルヘク察セラレ候處  
我方トシテハ飽ク迄両顧問ヲシテ右実績ヲ挙ケシムル様努  
メサルヘカラサル次第ニ付本官ニ於テモ此点充分注意致ス  
ヘク候ヘ共本省ニ於テモ東亞ニ對シ右特ニ注意セラルル様  
可然御措置相成度此段報告申進候 敬具  
追テ今春以来工事中ナリシ山下渡鉄橋ハ十二月十八日竣  
工式ヲ挙行致シ候ニ付此段申添候 敬具  
本信写送付先 在支公使

（付屬書）  
坂田東亞興業代表張南潯鐵道公司協理ヘ手交ノ意見書  
南潯鐵道改善ニ關スル意見書  
東亞興業会社代表 坂田九郎

一、保息ノ取立  
右予算ノ編成ハ同鐵道ニ於テハ最初ノ企ニ有之其实行如何  
ハ頗ル注意ヲ要スル儀ニ有之候處之カ成敗ハ一ニ邦人両顧  
問ノ協調的活動ニ俟タサルヘカラサルモノナルニ付本官ハ  
坂田技師ニ対シ同公司ニ於ケル種々ノ錯綜セル事情等ヲ告  
クルト共ニ顧問ノ職能ヲ充分發揮スル様督励セラレ度旨篤  
ト内話致シ置キタル次第ニ有之候

次第有之候處右貴見大体同感ニ付必要ニ応シ右ノ趣旨ニヨ  
リ可然東亞側ヲ指導セラレ度尚貴見ノ次第ハ適宜取捨ノ上  
東亞側ニ注意ヲ与ヘ置キタルニ付右ニ御承知相成度此段申  
進候也

写送付先 在支公使、在上海總領事

四五九 十二月二十三日 在九江江戸領事宛  
伊集院外務大臣ヨリ  
坂田東亞興業代表來潯シ張南潯鐵道公司協理  
二南潯鐵道改善意見書手交ノ件  
付屬書 同意見書  
機密往第六三号  
大正十二年十二月二十三日 在九江  
（大正十三年一月八日接受）  
外務大臣男爵 伊集院 彦吉殿  
南潯鐵道ニ關スル件  
本件ニ關シ本年十一月十六日付機密往第六一号拙信ヲ以テ  
報告旁々及請訓置候處同鐵道協理張肇達ハ久シク北上中ノ  
處過般漸ク帰潯シタル趣ヲ以テ本官ヲ來訪シタルニ付懇談  
御承知ノ如ク支那人ノ通弊トシテ仮令予算ヲ編成スルモ之  
ヲ實行シ其成績ヲ挙クル事頗ル困難ナルヘク察セラレ候處  
我方トシテハ飽ク迄両顧問ヲシテ右実績ヲ挙ケシムル様努  
メサルヘカラサル次第ニ付本官ニ於テモ此点充分注意致ス  
ヘク候ヘ共本省ニ於テモ東亞ニ對シ右特ニ注意セラルル様  
可然御措置相成度此段報告申進候 敬具  
追テ今春以来工事中ナリシ山下渡鉄橋ハ十二月十八日竣  
工式ヲ挙行致シ候ニ付此段申添候 敬具  
本信写送付先 在支公使

（付屬書）  
坂田東亞興業代表張南潯鐵道公司協理ヘ手交ノ意見書  
南潯鐵道改善ニ關スル意見書  
東亞興業会社代表 坂田九郎

一、保息ノ取立  
右予算ノ編成ハ同鐵道ニ於テハ最初ノ企ニ有之其实行如何  
ハ頗ル注意ヲ要スル儀ニ有之候處之カ成敗ハ一ニ邦人両顧  
問ノ協調的活動ニ俟タサルヘカラサルモノナルニ付本官ハ  
坂田技師ニ対シ同公司ニ於ケル種々ノ錯綜セル事情等ヲ告  
クルト共ニ顧問ノ職能ヲ充分發揮スル様督励セラレ度旨篤  
ト内話致シ置キタル次第ニ有之候

## 六 南満鐵道関係 四五九

四一〇

省当局ニ対シ保息増收ノ嚴重ナル交渉ヲ開始セラレ度シ

### 一、予算ノ編成

貴公司ニ於テハ從来収支ニ関スル予算ヲ編成シタルコトナキヲ以テ資金ノ用途其宜敷ヲ得サルノミナラス会計ノ整理ハ頗ル乱雜ヲ極メタルハ既ニ御承知ノ通リナルニ付

明年度ヨリ予算ニ準拠シテ収支ヲ定メ以テ会計ノ確立ヲ期セラレ度シ

尚明年度支出予算ノ編成ハ公司ノ現状及各鉄道ノ実例ニ基キ營業収入（八十万元）ノ七割五分ヲ限度トセラルルヲ以テ適當ト認ム

### 三、冗員ノ整理及局課ノ廃合

公司財政状態ノ窮迫セル現状ニ顧ミ人件費ノ節減ヲ実行セラレタシ尚局課廃合ノ可能ナルモノヲ列挙シテ整理ノ資ニ供スレハ左ノ如シ

### 五、列車ノ増發

山下渡鉄橋既ニ竣工シタルヲ機トシ此際列車ヲ増発シテ収入ノ増加ヲ計ラルルハ緊急事項ト認メラルニ付諸施設ニ研究ヲ加ヘラレ早日実行ニ着手セラレタシ

### 四、顧問ノ権限

貴公司ニ於ケル会計及工作ノ重大事項ハ先ツ顧問ノ意見ヲ徵スヘキモノナルニ拘ラス從來ハ顧問ノ參議ヲ経スシ

テ決定セラレタル実例ノ少カラサルハ弊社顧問推薦ノ趣旨ニ背致スル次第ニテ看過スヘカラサル事項ナルニ付今後ハ諸事顧問ト商議ヲ遂ケ以テ契約ニ合セシメラレ度シ

## 事項七 四洮鐵道關係

四六〇 二月二十三日

芳沢亞細亞局長ヨリ  
在京川村満鉄社長宛

### 四洮鐵道ノ支線白音太來、開魯間鐵道敷設計

### 画ニ付对中国新借款團ニ提議方依命申進ノ件

（機密信）

白音多拉開魯間鐵道敷設計画ニ關スル件

拝啓陳者貴社ニ於テハ白音多拉枝線ヲ開魯迄延長ノ希望ヲ有シ居ラル趣ノ處右計画実施ニ當テハ對支新借款團ノ關係ヲ考慮スルノ必要有ルヤ否ヤニ付裏ニ貴社ヨリ御照会ノ次第有之候處該枝線ノ敷設ニ關シテハ鄭家屯白音多拉間枝

線敷設ノ場合ト異リ日本側トシテハ德義上一應該計画ヲ新借款團ニ提議スルコト必要ト被存候尤モ該枝線ハ白音多拉

線ト不可分ノ關係ニ在ルコトハ申ス迄モ無之貴社本線路トモ密接ナル關係有之候ニ付該延長線丈ヲ全然別個ノ形式ニ依リ敷設經營スルコトハ種々ナル不便可有之矢張白音多拉

枝線ノ場合ト同様ノ方法ニ依リ施設スルコト好都合ト思考セラレ候ニ付一應新借款團ニ提議スト雖結局ハ日本側丈ト

四六一 二月二十四日

木部満鉄東京支社長ヨリ  
芳沢亞細亞局長宛

### 白音太來、開魯間鐵道敷設ニ關シ其ノ四國借

### 款團トノ關係ニ付外務省及ビ拓殖事務局ノ意

向問合方松岡満鉄理事ヨリ申越シノ件

付屬書

二月五日付松岡満鉄理事ヨリ東京支社長宛書翰  
白音太來開魯間鐵道ノ件

（二月二十六日接受）